



各務原市民の皆様、今年の2月に行われました市議会議員選挙におきまして皆様のお陰で市議会に送り出さいただき誠に有難うございました。今回、市政報告を行うための『絆通信』を発行させて頂きましたので是非お読み頂き、ご意見を賜りたく思っておりますので宜しくお願いします。

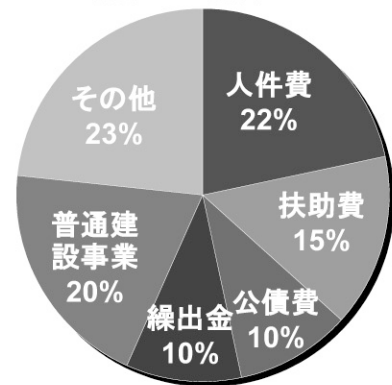
平成21年度各務原市予算の概要

3月定例議会で新年度予算が決議されましたのでご報告をいたします。今回は特に歳出に重点をおいてご説明をさせていただきます。

予算総額403.7億円（対前年度比0.5%増）

項目	予算額	構成比	伸率
人件費	87.5億	21.7	△3.4
扶助費	60.9億	15.0	4.9
公債費	39.4億	9.8	1.3
繰出金	41.4億	10.2	6.2
普通建設事業	80.1億	19.9	0.2
その他	94.4億	23.4	△1.0
合計	403.7億	100.0	0.5

歳出の構成比



【項目の説明】

※金額は全て切り捨てて表示してあります

人件費	職員給与と事務事業の外注費
扶助費	児童手当や生活保護にかかる社会保障費
公債費	市債や借入の返済金
義務経費	人件費、扶助費、公債費の合計 各務原市の義務的経費は188億円、全体の46.6%で比較的良好（ちなみに全国平均は49.8%でそれと比べても良い状態です）
繰出金	一般会計と特別会計（国民健康保険、介護保険、後期高齢者、下水道、水道事業）の間で、相互に資金運用をするもの 介護保険事業、後期高齢者医療事業への増加で前年度比6.2%の増
普通建設事業	道路や建物などの建設事業や用地の購入などに関する経費 各務原大橋、鵜沼第2小学校屋内運動場事業など前年比0.2%の増
その他	物件費（備品購入、委託料、旅費）64.8億、維持補修費7.8億、補助費等13.4億、積立金1.6億、投資等6.1億、予備費0.5億

主な事業 (1億円以上の事業や特筆すべき事業を抜粋しました。金額は切り捨てです)

【基盤整備事業】	金額(億円)	備考
各務原大橋建設	21.7	総額136億円 H24年完成予定
リサイクルセンター建設	7.6	旧北清掃センターを解体し跡地に整備
鵜沼第二小学校屋内運動場	4.4	プール一体的整備
那加メインロード整備 電柱地中化	3.1	市役所から市民公園までの260m 道の両側1m当り約100万円の費用がかかります
稲羽コミュニティセンター建設	3.1	防衛省の補助事業
中山道鵜沼宿まちづくり	3.1	脇本陣復原整備
鵜沼駅周辺市街地整備	8.6	JR、名鉄駅周辺、人參通り
各務野スポーツの森整備	1.2	各務野スポーツ広場東にテニスコート4面
都市公園等整備事業	1.4	東新公園、緑町中央公園、尾崎北町、空の森整備他
【その他事業】	金額(億円)	備考
東海中央病院改築助成	1.0	新病院はH23年にオープン予定 市は完成までに総額30億円負担の予定
こども医療費助成	6.0	小学生の入院・外来、中学生の入院の医療費助成
予防接種事業	1.9	ポリオ、麻疹・風疹混合、日本脳炎、インフルエンザ等
ふれあいバス運行	1.1	ふれあいバス運行委託
情報システム包括的アットリツク	2.3	情報システムの再構築
消防庁舎耐震補強事業	1.1	東消防署庁舎の耐震補強
浄化槽設置助成事業	1.0	浄化槽設置に対しての助成
勤労者住宅資金貸付制度	1.1	住宅資金50～1500万円、生活資金150万円迄
※災害時要援護者地図台帳システム	→	295万円の予算で未登録者の登録、外部提供の同意
※各務原市第2次新総合計画策定	→	839万円の予算で平成32年目標に総合計画を策定

【歳入と歳出の状況】

H21年度の市税収入は経済危機に伴いH20年度から7.3億円(3.4%)の減少、歳出は人件費抑制で3億円(3.4%)減少、社会保障費が2.8億円(4.9%)増加する。来年度以降も、社会保障費や繰出金は増加が見込まれる。公債費は合併特例債の償還等の増により0.5億円(1.3%)増加。

【今後の課題と取り組み】

世界経済の混乱から、景気後退局面に入り、雇用と所得環境が悪化してきている。7年連続のプライマリーバランス黒字を続ける当市ではあるが、一層の行・財政改革や、雇用を維持する為の積極的な支援が求められる。厳しい経済状況の中でもいかに社会福祉の充実を図るかを考え、住んで良かったと感じられる各務原市を目指す取り組みが必要である。

【杉山もとのり後援会事務所】 ※ホームページはヤフーから検索できます
各務原市蘇原六軒町3丁目6番地辻井ビル1F 電話/FAX 058-383-2900